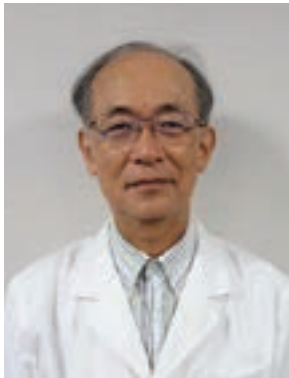




## 日本の小児医療と予防接種

病院長（小児科） 宮野前 健



皆さん、生まれてきた子ども達の最近の平均余命（寿命）をご存じでしょうか。平成 28 年の簡易生命表によると、男児の平均寿命は 80.98 年、女児の平均寿命は 87.14 年でした。この半世紀で約 18 年近く寿命は延びています。その要因は、日本の医療レベルの向上と、その恩恵を国民が等しく受けられる皆保険制度に因るところが大きいといわれています。がん治療の進歩や心血管系疾患の予防等で長生きできるようになったわけですが、その長寿の根っこの部分には、周産期・新生児医療の進歩と予防接種の普及が大きな役割を果たしています。1,000 人の赤ちゃんが生まれると、生後 1 ヶ月以内に 1 名弱の赤ちゃんが死亡（新生児死亡）します。また 2 ヶ月目から 1 歳のお誕生日までに 1 名の赤ちゃんが死亡します（乳児死亡率は  $1+1=2$  / 出生 1,000 人）。さらに 1 歳から 5 歳までに 1 名の幼児が病気などで無くなります。この 5 歳までの死亡率（Under-five mortality rate :U5MR 日本は 3 人 / 出生 1,000 人）はその国・社会の医療・保健衛生状況の大変良い指標になるといわれており、世界的に見て日本は最優等国の 1 つです。しかし世界に目を向けると、今日でも毎日 5 歳以下の子ども達の 1 万 6,000 人が命を失っており、その 4 割が新生児といわれています（ユニセフのデータより）。その対策の 1 つとして麻疹やコレラの予防接種（ワクチン）の普及が大きな支援の力となります。

さて、日本のワクチンはどの様になっているのでしょうか。現在は 13 種類のワクチンが定期予防接種（公費負担）となっています。ウイルス性疾患（麻疹、風疹、水痘、B 型肝炎、ポリオ、日本脳炎、ヒトパピローマ）や細菌感染症（結核、百日咳、ジフテリア、破傷風、肺炎球菌、インフルエンザ桿菌）がその対象です。単独あるいは何種類かのワクチンを混合した接種は、一回のみでは十分免疫力が付かないため、数回同じワクチンを接種します。そのため小学生までに延べ 28 回にも及ぶ予防接種を受けますが、全てが注射での接種ですから子ども達も大変です。しかしその予防接種の効果は中々目には見えませんが、しっかりと子供達の健康・命を守ってくれています。更に任意の予防接種として、オタフク風邪やロタウイルス、A 型肝炎、毎年流行するインフルエンザなどがあります。多くの自治体では費用は自己負担となっていますが、ワクチンで予防できる感染症はワクチン接種を行う事が大切です。

人類の歴史は感染症との戦いの歴史でもあり、現在も新興感染症が世界各地で報告されており、その戦いは現在も進行中です。ワクチンという武器を開発し、上手に使っていくことがこれからも重要だと考えています。



# 『入退院支援サービスの充実に向けて』

地域医療連携係長(看護師長) 永井 里香  
 外来看護師長 都市 美晴



## 入院支援センター

7月より入院支援センターを開設いたしました。入院支援センターの看護師が病棟の看護師と連携し、入院前から、患者さんが安心して入院療養いただけるようにお手伝いをいたします。患者さんの栄養状態や活動度を評価し、入院時に持参いただきたいもの(お薬手帳など)の説明や入院生活に関するオリエンテーションを行い、入院中に予定されている検査・治療の内容を説明させていただきます。早期から関わらせていただくことで、ご本人だけでなくご家族にも、入院生活での心配事や不安を少しでも軽くできればと考えています。また、入院前から地域関係諸機関と連携を図ることで、退院後も安心して在宅生活に戻れる環境を整えてまいります。



## 地域医療連携室

7月より2名の退院支援看護師が新たに誕生しました。患者さんやご家族の希望に基づいた退院支援及び退院調整を早期から行う為に、入院当日に入院病棟で、退院支援看護師が患者さんやご家族から在宅での過ごし方や在宅でのサービス利用状況を確認させていただきます。お聞きした内容を基に、担当医師、病棟看護師、医療ソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフなど、多分野の専門職が関わり協働して地域や在宅のサービスを総合的に検討します。退院支援看護師は退院後の生活や医療に関する相談、かかりつけ医の紹介、各種申請の手続きなどの相談にも対応します。お気軽にお声かけ下さい。



外来受診時に各外来診療室で入院を予約します



入院支援センターでは看護師が入院生活に関するオリエンテーションをし、日常生活状況の把握や内服中の薬の持参方法の説明(お薬手帳の持参のお願い)をします。入院病棟看護師と情報共有しスムーズな入院につなげます



医事受付で、入院時の必要書類を説明します

The floor plan shows the layout of the hospital. Key areas are highlighted with callouts:

- 正面玄関** (Main Entrance): Located at the top right of the plan.
- 医事受付** (Medical Reception): Located in the upper right section of the plan.
- 地域医療連携室** (Community Medical Collaboration Room): Located in the middle right section of the plan.
- 入院支援センター** (Inpatient Support Center): Located in the lower right section of the plan.

## 今年も「小児肥満サマースクール」を開催しました!

診療部長(小児科) 徳永 修

小児期の肥満は、現在の、そして将来の健康障害に結び付く可能性をもつと共に、心理的な負担となって自己肯定感の低下や不登校に結びつくケースも見られます。

当院小児科では20年以上前から「小児肥満外来」を設けて、肥満傾向にある子どもたちとの対話を続け、「子どもたちが劣等感を持つことなく、楽しみながら、自分たちの健康に興味を持ち続けること」を目標とした取り組みを継続しています。さらに、平成13年からは、より多くの肥満傾向の子どもたちとご家族に子どもに肥満の問題点とその解消に向けた取り組みを考えていただく機会を提供するため、当院に隣接する京都府立城陽支援学校と協力して、「小児肥満サマースクール」を継続して開催してきました。

今年も暑さが非常に厳しかった8月1日に、10名の小学生とご家族が参加して開催致しました。子どもたちは身体計測や血液・尿検査、さらに腹部エコー検査を済ませたのち、午前中は当院リハビリ科スタッフと共に、さらに午後は支援学校の先生方と楽しくからだを動かす機会を持ちました。保護者の皆さんには、午前中は小児肥満及びその食事療法に関する講義を聴講して頂き、午後には小児科医及び栄養士から個別の指導を受けて頂きました。お昼には当院栄養科スタッフが工夫を凝らしたカロリーに配慮したお弁当を味わって頂きました。会場に集まった時には無口だった子どもたちも、すぐに打ち解け、素敵な笑顔を見せながら、気持ちのいい汗を流していました。

今後も子どもたちの健やかな成長につながる地道な取り組みを継続して参りたいと思っています。



## 認定看護師について

西病棟4階 副看護師長 西田 憲二

昨年度、福井大学看護キャリアアップセンターでの研修を修了し、慢性呼吸器疾患看護認定看護師の資格を取得する事が出来ました。認定看護師は、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践ができる人材とされています。

慢性呼吸器疾患の患者さんは、長期にわたる息苦しさや治療の継続によって、生活の質が低下してしまっ



ていることが多いと言われています。私の取得した慢性呼吸器疾患看護の分野では、そのような患者さんやご家族様に対し、在宅酸素療法や在宅人工呼吸療法の導入の調整、薬物療法、呼吸リハビリテーション、禁煙指導等を行うことで、患者さんご家族の生活の質が向上することを目標にしています。また、それらを認定看護師の私だけが行うのではなく、関わるスタッフが慢性呼吸器疾患の患者さんに対する、看護技術や知識を向上していけるような教育を行なっていきたいと思っています。

## 地域医療に力を傾けておられるみなさまをご紹介します

京都南部の「糖尿病かかりつけ医」としてチームで地域に貢献します

### きだ内科クリニック

内科

糖尿病内科

院長 紀田 康雄 先生



長らくお世話になった第二岡本病院、京都岡本記念病院を退職して城陽市に6月より「きだ内科クリニック」を開院しました。専門は糖尿病・内分泌代謝ですが幅広く内科全般の診療を行っています。元々 GP（総合内科医）を目指していたので、開院後様々な内科疾患を診る事も楽しくて仕方がありません。糖尿病

はよほど高血糖でない限り自覚症状に乏しく適切な治療（血糖コントロール）を継続しないと様々な合併症（腎不全、視力障害・失明、心筋梗塞、脳梗塞、壊疽など）を引き起こし QOL や生命予後に影響することからサイレントキラーと呼ばれています。最近の研究から癌や認知症とも密接な関連がある事が解ってきました。当院では日本糖尿病学会のガイドラインに沿って患者様にあったオーダーメイドな治療方針を決定しています（patient centered approach）。院内迅速検査で血糖や HbA1c を当日に説明できるだけでなく神経障害や動脈硬化の検査も行っています。また療養指導に熱心な看護師や栄養士と共にチームで指導に取り組んでおり、インスリンや GLP-1（インクレチン）注射の外來導入も積極的に行っています。血糖コントロールで困っておられる先生方には遠慮なくお問い合わせ頂けたら幸いです。京都南部の糖尿病重症化予防の最前線でスタッフと地域に貢献できたらと考えていますので、ご自身が糖尿病をお持ちの方や糖尿病かどうか心配な方は、お気軽に「きだ内科クリニック」においで下さい。肥満症治療や睡眠時無呼吸の CPAP 管理も南京都病院坪井副院長と連携して行っています。電話予約（0774-54-5456）も受け付けています。

- 京都府城陽市平川山道46-25
- TEL 0774-54-5456
- FAX 0774-54-5458

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前診 9:00~12:00	○	○	/	○	○	○	/
午後診 16:00~19:00	○	○	/	○	○	/	/

- 外來は月、火、木、金は午前診と夜診、土曜日には午前診のみですが、12月からは水曜の午前診も行う予定です。日曜、祝日は休診です。

- ホームページ  
<http://www.kida-dmclinic.com/>



地域に根ざし、支えあう看護を目指します。

### 訪問ステーションゆりかご

訪問看護

「ゆりかご」は、城陽市を中心に訪問しております。

スタッフは看護師6名、理学療法士1名、作業療法士1名、事務員2名で日々チームワークを大切に活動しております。

平成6年に開設され、多くの方の支えや励ましにより、来年で25年を迎えようとしています。

最近では、「以前、主人（もしくは母）がゆりかごを利用していたので。」と、月日が流れても覚えてくださっていて、そのきっかけで依頼を受けることがあります。とても有り難く感じます。

長く共に過ごしてきた家には、その方の様々な歴史が刻まれていると思います。訪問する中で、それを肌で感じながら、病気や障害を持って、安心して暮らしていけるようサポートできるゆりかごでありたいと思っています。



- 京都府城陽市寺田垣内後43-10
- TEL 0774-56-6730
- FAX 0774-56-6731

- 営業日・営業時間  
月曜日から金曜日（※重症者の場合は土曜日の訪問相談に応ず）  
ただし、国民の祝日、12月29日～1月3日を除きます。  
8時30分から17時00分  
※24時間緊急対応可能



## 西病棟5階の紹介

西病棟5階 看護師長 濱村 恵子

西病棟5階は一般病床40床と結核ユニット20床の病棟です。

一般病床では、呼吸器疾患の患者さんを中心に、消化器外科、小児科、神経内科と様々な診療科、そして小児や成人期・老年期など幅広い年代の患者さんが入院されています。

入院時は入院支援センターと連携し、患者さんが安心して検査や手術、内科的治療を受けられるよう看護を行っています。

また入院早期から必要な患者さんには緩和ケアチームや栄養サポートチームなど多職種と連携し、症状緩和や栄養状態の改善が図れるよう介入しています。

退院後の生活調整や、社会資源の活用が必要な患者さんには地域連携室と協力し積極的に退院支援にも取り組んでいます。

H29年11月から結核ユニット20床を西5病棟内に開設し、結核患者さんの治療・看護にもあたっています。保健所との結核連携会議、DOTSカンファレンスやDOTS外来など積極的に結核の予防、撲滅に向けて取り組んでいます。



結核ユニット入口



保健所とのカンファレンス

また四季折々の飾りつけやイベントを行い、入院中の患者さんの気分転換が図れるような取り組みも行っていきます。

今後も、病棟内スタッフや病院内そして地域の多職種の方々と連携を図りながら、病院の理念である

「私たちは、分かりやすく安全で安心して受けられる、質の高い医療の提供」に向けて、常に患者さんの立場に立った看護を実践していきたいと思っています。



ハロウィン



# 結核研修会(医師向け)・神経筋難病研修会のお知らせ

## 平成30年度結核研修会(医師向け)

日時 : 平成30年11月17日(土) 13時00分~17時00分  
 会場 : メルパルク京都6階宴会会議場6【楓】  
 参加費 : 無料  
 後援 : 京都府医師会  
 単位 : 「日本医師会生涯教育講座:合計3.5単位」「ICD協議会:2単位」  
 「日本結核病学会・認定医・指導医・エキスパート:5単位」

主な研修内容:

- |                        |             |        |       |
|------------------------|-------------|--------|-------|
| 1. 潜在性結核感染の治療と集団発生時の対応 | 国立病院機構南京都病院 | 診療部長   | 佐藤 敦夫 |
| 2. 診断と治療、発生時の具体的対応     | 国立病院機構南京都病院 | 診療部長   | 佐藤 敦夫 |
| 3. 結核の画像               | 国立病院機構南京都病院 | 放射線科医長 | 游 逸明  |

申込先 : 独立行政法人国立病院機構南京都病院 結核研修会事務局 担当:井崎(いざき)

Tel 0774-52-0065

Email keiei-1@mkyoto.hosp.go.jp

ハイフン↑↓数字の1


独立行政法人国立病院機構南京都病院主催

## 平成30年度神経筋難病研修会

日時 : 平成30年12月12日(水) 13時30分~16時30分  
 会場 : 独立行政法人国立病院機構南京都病院3階大会議室  
 参加費 : 無料  
 研修内容 : 医師、保健師、看護師、作業療法士より各々の分野に関する講演を予定  
 申込先 : 京都府山城北保健所綴喜分室 担当:岡田(おかだ)  
 Tel 0774-63-5734 Fax 0774-62-6416

独立行政法人国立病院機構南京都病院主催 京都府山城北保健所、京都府山城南保健所共催

### 交通のご案内



国立病院機構  
南京都病院

- 近鉄京都線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
- JR学研都市線 京田辺から 京阪宇治バス約15分
- JR奈良線 山城青谷から 徒歩20分

\*...各駅より  
送迎車あり

### 診療科のご案内

● 呼吸器科	● 神経内科	● 小児科
● 内科	● 外科	● 消化器科
● 呼吸器外科	● 循環器科	● 整形外科
● 皮膚科	● リハビリテーション科	● 放射線科
● 麻酔科 (入院患者のみ対象)	● 歯科 (入院患者のみ対象)	● 耳鼻いんこう科 (休診中)

独立行政法人国立病院機構

# 南京都病院

(当院は在宅療養あんしん病院に登録しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください)

〒610-0113 城陽市中芦原11番地

TEL.0774-52-0065 FAX.0774-55-2765

URL <http://mkyoto-hosp.jp/>

地域医療  
連携室

- ダイヤルイン 0774-52-0114 (内線 222)
- 直通FAX 0774-58-0270
- E-mail [renkei@mkyoto.hosp.go.jp](mailto:renkei@mkyoto.hosp.go.jp)